

住民の機転が大惨事救う

両総用水路の決壊事故

合併30年 よもやま話
—その3—

小沢春光 (栗山)

若妻学級で耕運機の勉強

農業構造改善事業の要項が示され、横芝町に協議会が設置されたのは昭和38年のこと。これに先立って、広報や有線放送で「機械力を導入し、その余力を果樹栽培や畜産などの他産業に振り向けて、営農の改善を図る」などの要旨がPRされていきました。

剣な受講態度で取り組み、その結果、38年4月に松尾中学校庭で行われた出張検定では、99パーセントの合格率という好成績を収めたのです。その日は、伊藤績夫町長、農協の大木信夫青年部長なども付添われ、心配そうに見守っておられた姿が目につかびます。

坂田池に白鳥飛来

その効果でしょうか、公民館活動としての学習を続けていた大総地区の若妻学級では、自動耕運機の運転免許を取得したいという声が出てきました。この要望はたちまち全地区の若妻学級に波及し、さらに一般からも同様の声があがってきました。

機械化農業に明日への夢を託す横芝町に、一瞬の明るさと反省を投げかけたのは、坂田池に飛来した3羽の白鳥でした。

そこで町や農協では、集団検定をめざして、免許取得講習会を開くことになりました。参加した70名を越える人たちは、真

昭和39年12月、坂田池周辺の水鳥を観察していた、横芝中学校のクラブ員の双眼鏡の視野に、見慣れない白い水鳥の姿が映り

盛大に開かれた合併10周年記念式典(横中講堂)



あしあと

45年

- 5 農協のカントリーエレベーター完成
- 6 役場庁舎増築、中央公民館完成
- 9 一日県庁当町で開催
- 10 1市3町消防組合設立
- 11 集中豪雨で被害続出

46年

- 4 消防組合横芝分署完成
- 6 町長に伊東巖氏当選
- 7 郡市広域行政組合設立
- 9 台風25号で被害甚大

47年

- 1 横芝駅跨線橋完成
 - 4 町予算10億円突破
 - 7 海の子どもの国開園
- 元日本兵横井庄一さんグアムで発見、浅間山荘事件起こる、「恍惚の人」べ